

第36回建設業経理事務士検定試験

3級試験問題

注意事項

1. 解答は、解答用紙に指定された解答欄内に記入してください。解答欄外に記入されているものは採点しません。
2. 金額の記入にあたっては、以下のとおりとし、1ますごとに数字を記入してください。

↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
一	千	百	十	一	千	百	十	一
億	万	万	万	万	の	の	の	の
の	の	の	の	の	位	位	位	位
位	位	位	位	位				

3. 解答は、指定したワク内に明瞭に記入してください。判読し難い文字が記入されている場合、その解答欄については採点しません。
4. 設問中の各取引について、消費税は一切考慮しないこととします。
5. 解答用紙には、氏名・受験番号シール貼付欄が2カ所あります。2カ所とも、氏名はカタカナで記入し、受験番号は受験票に付いている受験番号シールを貼ってください。なお、受験番号シールがないときは、自筆で受験番号を記入してください。
(氏名・受験番号が正しく表示されていないと、採点できない場合があります。)

〔第1問〕 岐阜工務店の次の各取引について仕訳を示しなさい。使用する勘定科目は下記の〈勘定科目群〉から選び、その記号（A～W）と勘定科目を書くこと。なお、解答は次に掲げた（例）に対する解答例にならって記入しなさい。

（20点）

（例） 現金¥100,000を当座預金に預け入れた。

- (1) A社株式を¥1,800,000で買い入れ、代金は手数料¥75,000とともに小切手を振り出して支払った。
- (2) B工務店から外注作業完了の報告があり、その代金¥1,000,000のうち¥450,000については手持ちの約束手形を裏書譲渡し、残りは翌月払いとした。
- (3) 得意先C店が倒産し、同店に対する完成工事未収入金¥1,400,000が回収不能となった。なお貸倒引当金の残高が¥900,000ある。
- (4) 建設機械を購入し、代金¥598,000は小切手を振り出して支払った。当座預金の残高は¥333,000であり、取引銀行とは当座借越契約（借越限度額¥1,000,000）を結んでいる。
- (5) 決算に際して、当期純利益¥850,000を資本金勘定に振り替えた。

〈勘定科目群〉

A 現金	B 当座預金	C 資本金	D 当座借越	E 有価証券
F 支払手数料	G 完成工事未収入金	H 工事未払金	J 受取手形	K 支払手形
L 完成工事高	M 損益	N 外注費	Q 経費	R 機械装置
S 貸倒損失	T 借入金	U 未払金	W 貸倒引当金	

〔第2問〕 次の原価計算表と未成工事支出金勘定に基づき、解答用紙の完成工事原価報告書を作成しなさい。

（12点）

原価計算表

（単位：円）

摘 要	A 工事		B 工事		C 工事	D 工事	合 計
	前期繰越	当期発生	前期繰越	当期発生	当期発生	当期発生	
材 料 費	× × ×	140,000	54,000	× × ×	× × ×	× × ×	445,000
労 務 費	50,000	103,000	× × ×	58,000	× × ×	52,000	334,000
外 注 費	× × ×	× × ×	× × ×	90,000	98,000	37,000	× × ×
経 費	20,000	32,000	× × ×	28,000	58,000	33,000	184,000
合 計	188,000	× × ×	169,000	× × ×	278,000	214,000	× × ×
期末の状況	完成・引渡完了		未 完 成		完成・引渡完了	未 完 成	

未成工事支出金

（単位：円）

前期繰越	× × ×	完成工事原価	× × ×
材 料 費	343,000	次 期 繰 越	× × ×
労 務 費	257,000		
外 注 費	309,000		
経 費	× × ×		
	× × ×		× × ×

〔第3問〕 次に掲げる＜平成×年3月中の取引＞を解答用紙の合計試算表の（イ）当月取引高欄に記入し、次いで（ア）前月繰越高欄と（イ）の欄を基に（ウ）合計欄に記入しなさい。なお、材料は購入のつど材料勘定に記入し、現場搬入の際に材料費勘定に振り替えている。 (30点)

＜平成×年3月中の取引＞

- 1日 手許現金を補充するため、小切手¥150,000を振り出した。
- 3日 銀行より¥500,000を借り入れ、利息¥5,000を差し引かれた手取額が当座預金に振り込まれた。
- 7日 福島商事(株)と工事請負契約が成立し、前受金¥300,000を小切手で受け取った。
- 9日 滋賀建材(株)から材料¥351,000を掛けで購入し、本社倉庫に搬入した。
- 12日 本社事務員の給料¥60,000、現場作業員の賃金¥78,000を現金で支払った。
- 13日 工事の未収代金の決済として¥500,000が当座預金に振り込まれた。
- 15日 材料¥108,000を本社倉庫より現場に搬送した。
- 19日 外注業者の東西工務店から作業完了の報告があり、外注代金¥250,000の請求を受けた。
- 20日 9日に掛けで購入し、本社倉庫で保管していた材料の一部に不良品があり、¥65,000の値引きを受けた。
- 22日 工事現場の電話代¥20,000を現金で支払った。
- 23日 取立依頼中の約束手形¥360,000が支払期日につき、当座預金へ入金となった旨の通知を受けた。
- 25日 9日に掛けで購入し、15日に現場に搬送した材料の一部に品違いがあり、現場より¥58,000返品した。
- 26日 材料の掛買代金支払のため、小切手¥330,000を振り出した。
- 28日 当社振り出しの約束手形¥240,000が支払期日につき、当座預金から引き落とされた。
- 30日 請負代金¥500,000の工事が完成したので、発注者へ引き渡し、前受金¥200,000を相殺した残額を請求した。

〔第4問〕 次の文章の の中に入る適当な用語を下記の＜用語群＞の中から選び、その記号（ア～ソ）を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。 (10点)

- (1) 株式配当金領収証、郵便為替証書は a 勘定で処理する。
- (2) 前受利息は b の勘定に属し、前払利息は c の勘定に属する勘定科目である。
- (3) 固定資産の補修において、当該資産の能率を増進するための支出は d と呼ばれ、原状を回復するための支出は e と呼ばれる。

＜用語群＞

ア 収益	イ 収益的支出	ウ 小切手	エ 経費	オ 負債
カ 資本	キ 未成工事支出金	ク 費用	コ 資本的支出	サ 現金
シ 工事原価	ス 当座預金	セ 資産	ソ 普通預金	

〔第5問〕 次の〈決算整理事項等〉により、解答用紙に示されている大宮工務店の当会計年度（平成×年1月1日～平成×年12月31日）に係る精算表を完成しなさい。なお、工事原価は未成工事支出金勘定を経由して処理する方法によっている。(28点)

〈決算整理事項等〉

- (1) 機械装置（工事現場用）について¥48,000、備品（一般管理用）について¥8,000の減価償却費を計上する。
- (2) 有価証券の時価は¥166,400である。評価損を計上する。
- (3) 受取手形と完成工事未収入金の合計額に対して2%の貸倒引当金を設定する。（差額補充法）
- (4) 支払家賃には前払分¥9,500が含まれている。
- (5) 現金の実際手許有高は¥332,000であったため、不足額は雑損失とする。
- (6) 期末において、定期預金の未収利息¥1,300と借入金の未払利息¥3,300がある。
- (7) 未成工事支出金の次期繰越額は¥354,000である。